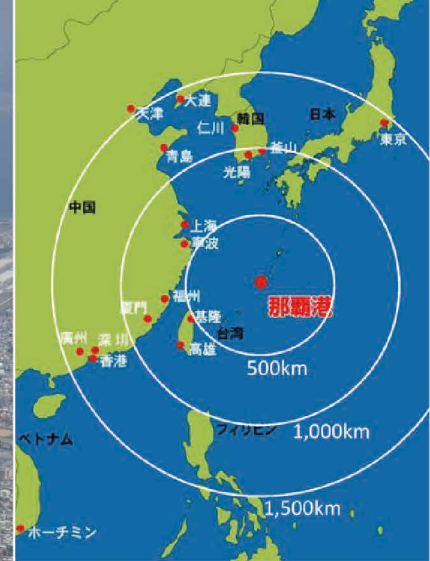




代表電話番号 : 098-868-2578  
URL : <https://nahaport.jp/>



2022年/2023年

# 那覇港要覧 NAHA PORT

# 1 那覇港管理組合

## 《設立目的》

那覇港管理組合は、那覇港の開発発展と利用の促進を図るとともに、適正で能率的な管理運営を行うことを目的として平成14年4月1日に沖縄県、那覇市及び浦添市の三自治体で設立した特別地方公共団体です。

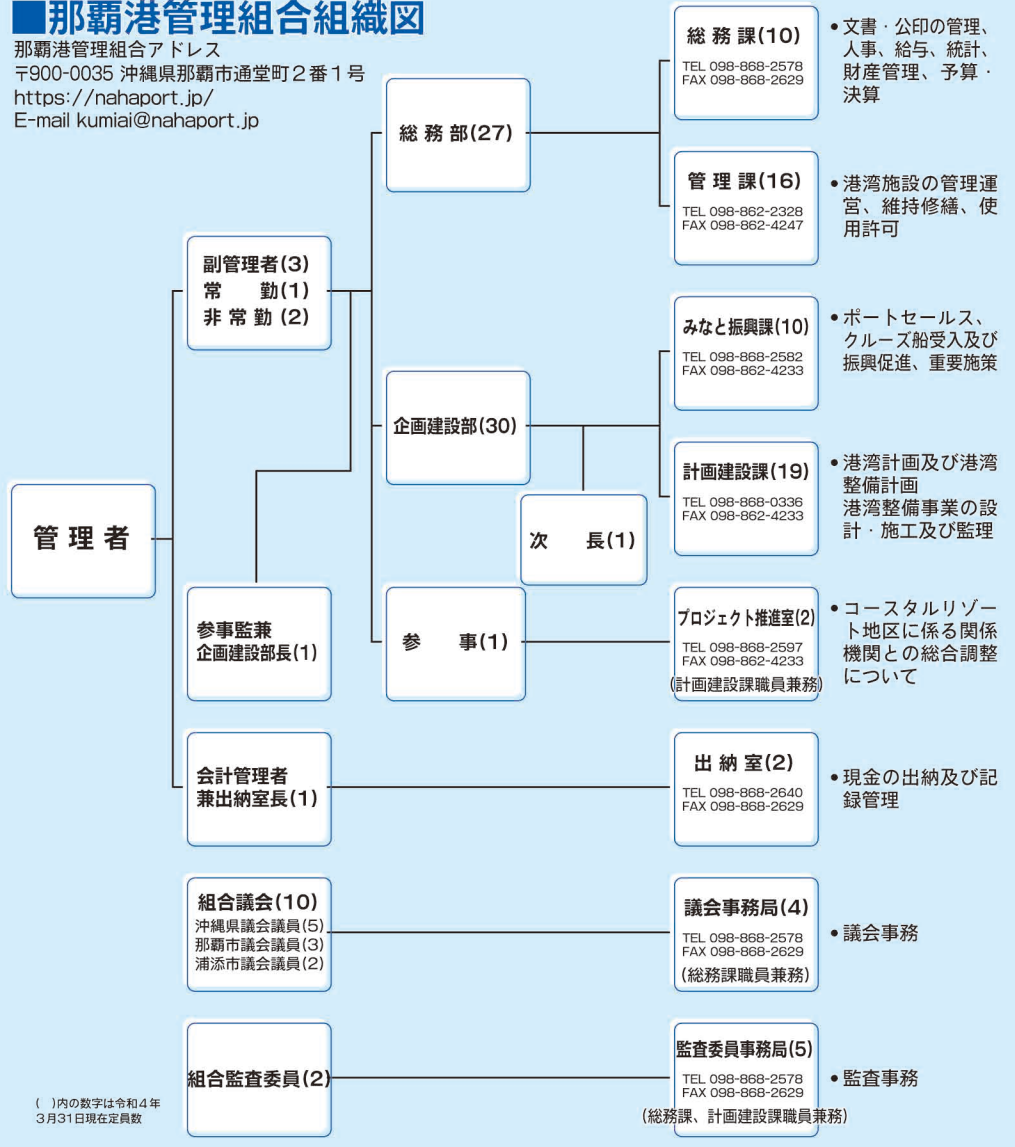
## 《整備方針》

那覇港管理組合では、次の5つの整備方針を掲げ、整備計画を推進しています。

- ①新たな産業拠点としての国際物流関連産業の展開
- ②国際ロジスティクスセンター等としての新たな産業空間の創出
- ③南の国際交流拠点を目指した国際クルージング基地と海洋リゾート地区の形成
- ④世界に誇れる豊かな自然環境の保全と新たな環境の創出
- ⑤沖縄の生活・物流拠点としての那覇港4ふ頭地区の港湾機能の適正配置

## ■那覇港管理組合組織図

那覇港管理組合アドレス  
〒900-0035 沖縄県那覇市通堂町2番1号  
<https://nahaport.jp/>  
E-mail [kumiai@nahaport.jp](mailto:kumiai@nahaport.jp)



( )内の数字は令和4年3月31日現在定員数



## 2 那覇港の歴史

### 《那覇港の概要》

那覇港は、沖縄本島南部、那覇市と浦添市にまたがって位置し、沖縄県の物流、人流の中心的な拠点港湾として沖縄県の経済社会活動を支えており、外国、本土と沖縄、宮古、八重山や周辺離島と連絡する沖縄で最も重要な港湾となっています。

古くは15世紀頃から琉球王府の貿易の拠点として栄え、今日まで沖縄の海の玄関として発展してきた港であり、一部の石油製品などを除き、沖縄で生産・消費されるほとんどの物資が取り扱われています。



▲ 1422年頃の那覇港の絵図（沖縄県立博物館所蔵）

1264年	浦添城を居城とした中山王が泊港（現在の泊ふ頭）を国港として整備。
1422年	沖縄本島の統一を果たした尚巴志王が、那覇港（現在の那覇ふ頭）を中国進貢貿易などの拠点とした。
1972年	本土復帰直前、那覇港・泊港・新港を一体的に管理運営するため、3港を一元化し、那覇市の管理となり、現在の那覇港となる。
1984年	新港ふ頭地区の岸壁（-7.5mから-11m）が完成する。
1997年	コンテナ専用岸壁（-13m）1バースを供用開始（9号岸壁）。
1998年	ガントリークレーン1号機供用開始。
2002年	那覇港管理組合設立。
2003年	那覇港港湾計画（改訂）が承認され、トランシップ港及び海域環境保全ゾーンが位置づけられる。
2004年	ガントリークレーン2号機供用開始。
2005年	「那覇港公共国際コンテナターミナル」の運営事業に関して、那覇国際コンテナターミナル株式会社（NICTI）と賃貸契約締結。
2006年	1月、国際公共コンテナターミナル供用開始。
2009年	9月、旅客専用バース供用開始。

## 3 自然条件

### 《気象、潮流、海底地質》

気候は暖かい黒潮の影響を受け、亜熱帯性海洋気候に属しています。その特徴として、一年を通じて、気温の変化は少なく、年平均気温23℃、真冬でも10℃前後と一年中温暖な気候で、降雨量は全国に比べて多く、年間降水量平均は2,196mmとなっています。冬から春にかけて北ないし北北東の季節風（11月～3月）が、夏は南東の季節風が卓越します。また台風が夏から秋にかけて沖縄付近を通過しますが、そのうち、那覇港周辺に接近するのは2～3個程度です。潮流は、上げ潮時には北東流、下げ潮時には、南西流が卓越します。流速は沖合部が大きく30～50cm/s、沿岸部で10～20cm/s程度です。海底地質は、上位から10m～15mの沖積層（海浜砂礫）、10m前後の洪積層（琉球石灰岩）、及び第三紀層（島尻層）から成り立っています。

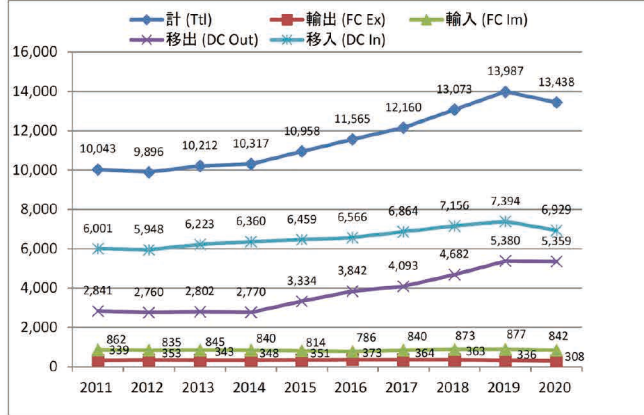
2011年	8月、「那覇うみそらトンネル」供用開始。
2012年	7月、ボイジャーオブザシーズ初寄港。
2013年	4月、「波の上うみそら公園」供用開始。
2014年	4月、那覇クルーズターミナル供用開始。
2014年	7月、ガントリークレーン3号機供用開始。
2015年	4月、台湾港務株式会社（TIPC）とのパートナーシップ港に関する覚書（MOU）の締結。
2015年	5月、ガントリークレーン4号機供用開始。
2015年	7月、大型クルーズ船3隻同時寄港。
2015年	8月、アジア最大級クワンタム・オブ・ザ・シーズ那覇港初寄港。
2015年	12月、NICTIとコンテナターミナル賃貸借契約を更新。中核企業は三井倉庫株式会社に変更。
2016年	1月、新体制となったNICTIによるコンテナターミナルの運営開始。
2018年	3月、「臨港道路浦添線」供用開始。
2019年	5月、那覇港総合物流センター開業。

# 4 港 勢

2020年に那覇港に入港した船舶数は8,386隻(27,286,105総トン)となっています。船舶乗降人員は411,972人で、内外航別にみると81.4%が内航客であり、そのうち県内航路が91.6%を占めています。

また、港湾取扱貨物量は1,343万トンで、これを内外貿易別にみると91.4%が内貿、出入別にみると輸移入が57.8%を占めています。全体の取扱貨物量のうち、コンテナ貨物は約34.2%を占めています。

海上出入貨物年次推移図 (Kiloton)

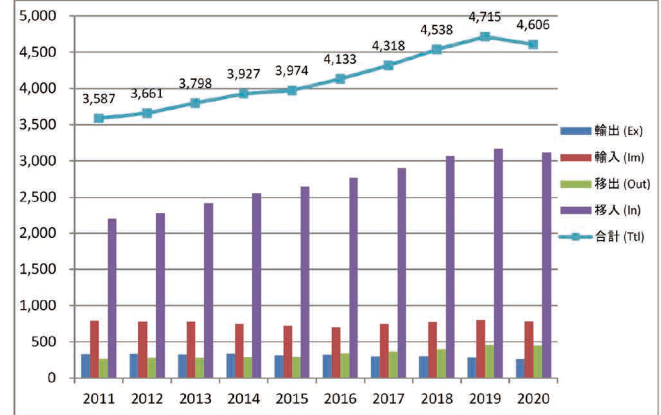


※ FC: Foreign Cargo, DC: Domestic Cargo

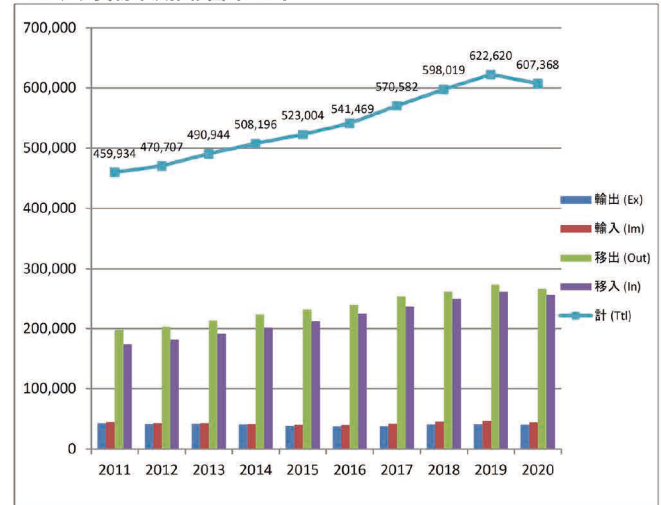
コンテナ貨物年次推移表 (TEU)

年		輸出 (Ex)	輸入 (Im)	移出 (Out)	移入 (In)	計 (Ttl)	総計
2011	実 (Loaded)	18,302	44,947	18,063	132,608	213,920	459,934
	空 (Empty)	24,600	0	179,781	41,633	246,014	
2012	実 (Loaded)	18,594	43,521	18,567	136,960	217,642	470,707
	空 (Empty)	23,342	103	184,546	45,074	253,065	
2013	実 (Loaded)	18,115	43,610	18,598	146,043	226,366	490,944
	空 (Empty)	24,097	148	194,876	45,458	264,578	
2014	実 (Loaded)	18,717	41,916	19,570	154,401	234,604	508,196
	空 (Empty)	22,252	112	203,633	47,596	273,592	
2015	実 (Loaded)	17,484	40,191	21,207	160,148	239,029	523,004
	空 (Empty)	20,884	46	210,484	52,561	283,975	
2016	実 (Loaded)	18,039	39,218	23,690	167,239	248,185	541,469
	空 (Empty)	19,730	760	215,531	57,263	293,284	
2017	実 (Loaded)	16,568	41,635	25,958	175,192	259,353	570,582
	空 (Empty)	21,649	786	227,579	61,215	311,229	
2018	実 (Loaded)	17,037	42,928	28,142	185,570	273,676	598,020
	空 (Empty)	23,917	2,613	233,621	64,194	324,344	
2019	実 (Loaded)	15,764	44,685	32,014	191,802	284,263	622,620
	空 (Empty)	25,763	1,915	240,979	69,700	338,357	
2020	実 (Loaded)	14,596	43,028	31,723	188,557	277,904	607,368
	空 (Empty)	26,121	1,429	234,263	67,652	329,465	

コンテナ貨物年次推移図 (Kiloton)

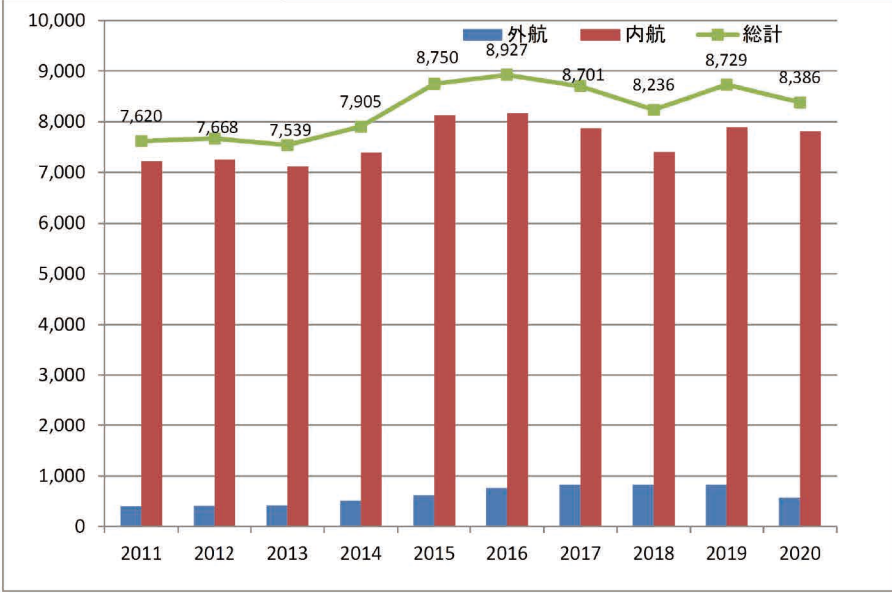


コンテナ貨物年次推移図 (TEU)





### 入港船舶隻数年次推移図



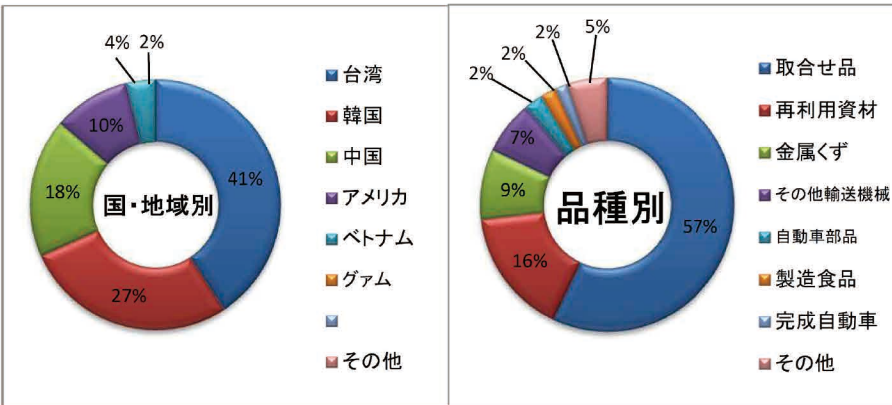
### (輸出) (2020年)

国・地域名	トン数	百分比	品 種	トン数	百分比
台湾	125,623	40.79%	取合せ品	175,668	57.04%
韓国	84,843	27.55%	再利用資材	49,608	16.11%
中国	55,161	17.91%	金属くず	27,448	8.91%
アメリカ	30,529	9.91%	その他輸送機械	20,970	6.81%
ベトナム	11,636	3.78%	自動車部品	7,449	2.42%
Guam	178	0.06%	製造食品	6,135	1.99%
その他			完成自動車	4,803	1.56%
			その他	15,889	5.16%
	307,970	100%		307,970	100%

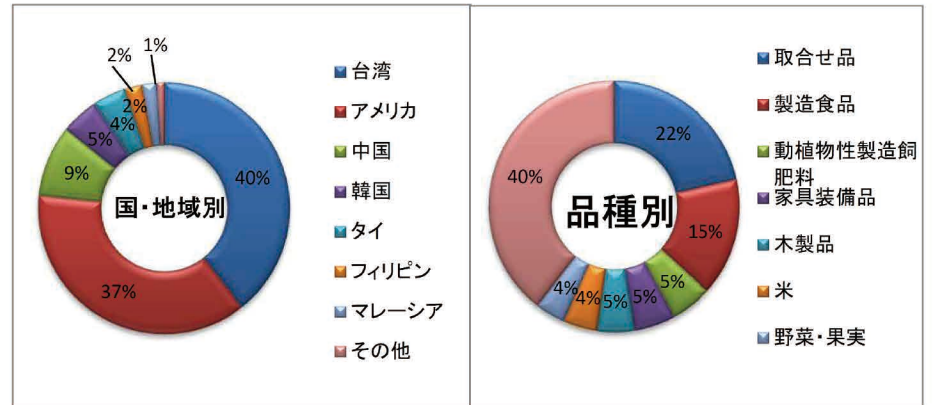
### (輸入) (2020年)

国・地域名	トン数	百分比	品 種	トン数	百分比
台湾	331,453	39.35%	取合せ品	181,266	21.52%
アメリカ	314,204	37.30%	製造食品	128,507	15.26%
中国	76,805	9.12%	動植物性製造飼肥料	44,835	5.32%
韓国	40,956	4.86%	家具装備品	44,686	5.30%
タイ	35,953	4.27%	木製品	40,941	4.86%
フィリピン	18,468	2.19%	米	37,051	4.40%
マレーシア	15,975	1.90%	野菜・果実	32,483	3.86%
その他	8,524	1.01%	その他	332,569	39.48%
	842,338	100%		842,338	100%

### 海上輸出貨物国・地域別、品種別構成 (2020年)



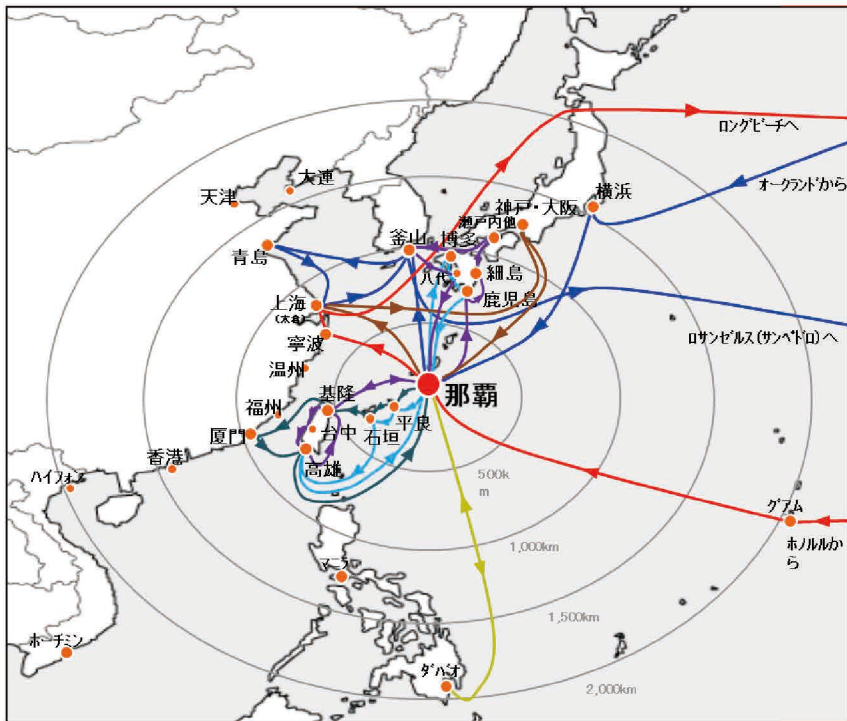
### 海上輸入貨物国・地域別、品種別構成 (2020年)



# 5 定期・不定期航路図

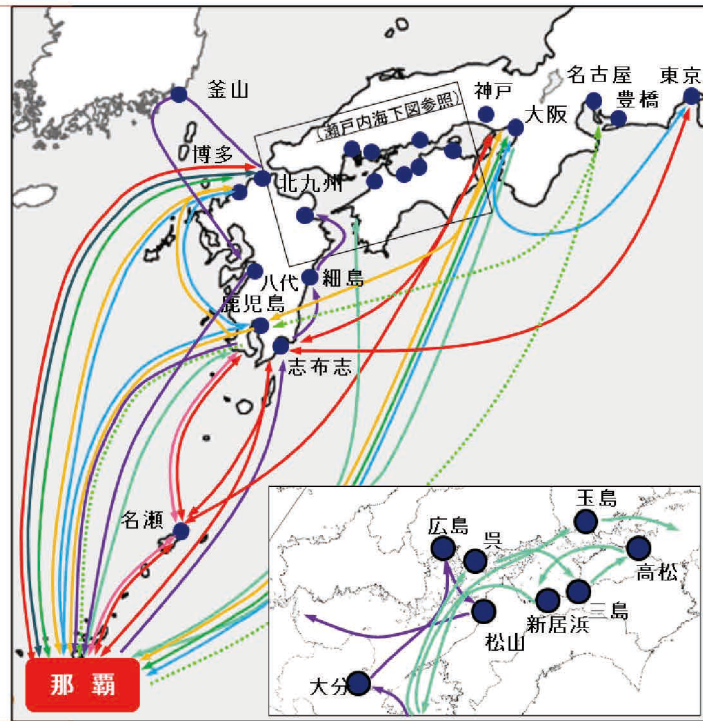
那覇港は、外貿定期航路として台湾、北米、中国、韓国、フィリピンを結ぶコンテナ航路が就航(7航路)しています。県外定期・不定期航路は、東京、大阪、神戸、名古屋、博多、鹿児島等を結ぶRORO船、一般貨物船等が就航(20航路)しています。2020年(令和2年)2月から台湾(台中)・韓国(釜山)を運航する定期航路について費用の一部を支援しています。

## 外貿定期航路



## 県外定期・不定期航路

2021.12.01 現在



※詳細は別頁「14 定期船・不定期船航路別表」を参照



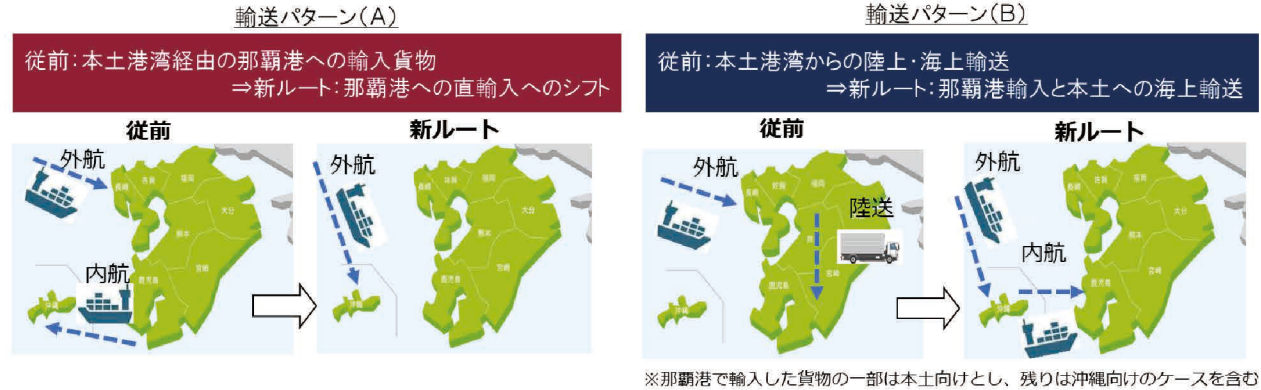
# 6 国際物流プロジェクト

- ・那覇港では輸入移入超過、いわゆる「片荷輸送」となっていることや、外貨貨物の取扱量が少なく、海上輸送コストが割高になる要因の一つとなっています。
- ・その解消策として、那覇港輸送効率化支援事業及び那覇港輸出貨物増大促進事業を実施しております。

## 《那覇港輸送効率化支援事業》 《荷主対象》

那覇港の国際コンテナ貨物の効率的な輸送パターンへのシフトを支援することにより、那覇港における国際コンテナ貨物の増大と那覇港を利用する輸送の効率化を促進し、コスト、リードタイム等を検証することで、更なる貨物増大へ向けた物流コストの低減等の検討を行っております。

※2022年3月時点。2022年は内容要件を見直す予定。

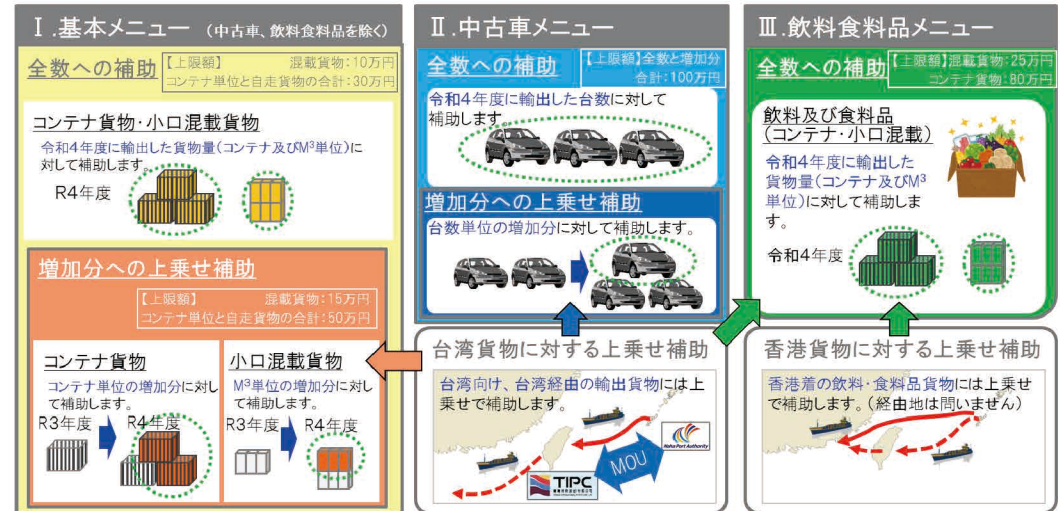


## 《那覇港輸出貨物増大促進事業》 《荷主対象》

コンテナ単位などで輸出する荷主を対象とした実証実験を実施し、コスト、リードタイム等を検証することで、物流コストの低減や輸送システムの改善等の検討を行っております。

### 《船社対象》

那覇港における新規の国際航路の開設及び国際トランシップ貨物の取扱を行う外航船社に対し、その費用の一部を支援することにより、那覇港における航路の拡充と国際コンテナ貨物の増大を実現することを目的としております。



## 《那覇港公共国際コンテナターミナル運営事業》

沖縄21世紀ビジョンに位置づけられた「民間主導による自立型経済の構築」を継承発展するため、那覇港新港ふ頭地区の9号及び10号ターミナルを一体的に運営可能な能力を有する民間企業に長期貸付、事業者の創意工夫による効率的運営により、国際競争力の向上を図り、国際海上輸送コストの低減や航路誘致による産業立地、雇用拡大を実現することを目的としたプロジェクトです。

那覇港長期構想では、東アジアの中心に位置する優位性を活かし、著しい経済成長を続けるアジアのダイナミズムを取り込み、日本本土と東アジアを結ぶ中継拠点港(サブハブ)としての展開を目指すこととしてとりまとめているところです。また、港湾施設の整備も進め、ガントリークレーン3基、リーファー電源126口が利用されております。

2006年1月1日、日本で初めて、完全民間企業(Naha International Container Terminal Incorporation)による運営が開始され、2016年1月1日からは、国内有数の総合物流企業である三井倉庫株式会社が中核企業として経営に参入しました。

新中核企業のこれまで培ってきた豊富な経験・人材と海外ネットワークを最大限活用し、新たな貨物獲得や貨物増加に向けた取り組みを強化しています。

【那覇港公共国際コンテナターミナルの施設概要】

那覇港公共国際コンテナターミナル	No.9 Existing	No.10 Existing	No.11(計画) Planned
供用開始	1997年8月	2006年1月	—
岸壁延長	300m	350m	350m
奥行	350m	350m	500m
実水深(No.11は計画水深)	14m	15m	15m以上
面積	210,000㎡		175,000㎡
ガントリークレーン	3基 2号機：40t 16列対応 3号機：40t 18列対応 4号機：40t 18列対応		—
リーファー電源	440V：126口		—
ターミナルオペレーター	那覇国際コンテナターミナル(株) Naha International Container Terminal, Inc. (NICTI)		

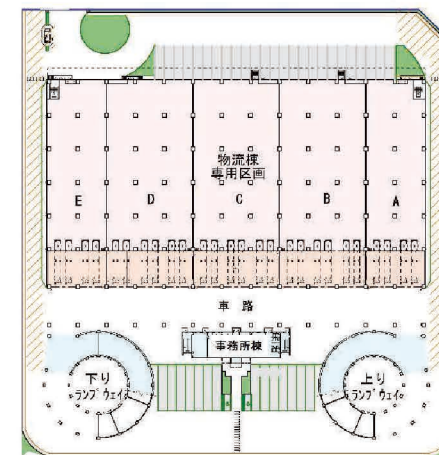




## 《那覇港総合物流センター整備事業》



組成及び役割分担	協力企業 [8社]	代表企業 [1社]	琉球海運(株) ※運営業務実施)			
		構成企業 [3社]	(株)ニチレイロジグループ 本社 那覇地域貨物運送協同組合 (株)沖縄日本管財 (※維持管理業務実施)			
		3階	沖縄港運(株)	マルエー 物流(株)	琉球物流(株)	ドライ
		2階	沖縄県黒砂 糖協同組合	(株)沖縄急送	琉球通運(株)	常温
		1階	(株)ニチレイ・ロジスティクス九州			冷凍冷蔵
			※運営業務：(株)日本プロパティ・ソリューションズ			(凡例)

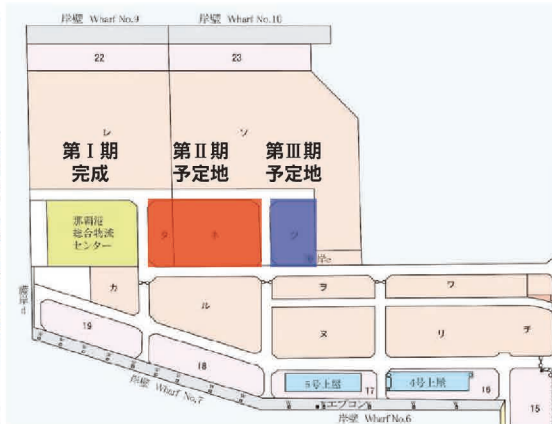


平面図

敷地面積	約26,401㎡
建築面積	約15,370㎡
のべ面積	約45,828㎡
物流棟専用区画面積	各階約10,495㎡ 合計約31,485㎡

那覇港総合物流センターは、本県の生活・産業関連貨物の大部分を占める港湾貨物を取り扱う那覇港において、集貨・創貨を促進することにより取扱貨物の増加を目指し、物流の高度化を図るとともに、流通加工等の新たな価値を生み出す付加価値型産業の集積を図る総合物流施設として2019年5月に開業しました。

現在、那覇港管理組合では、第Ⅱ期・Ⅲ期予定地の早期整備に向けた取組みを行っているところです。





# 7 国際クルーズ拠点形成

## 《那覇港発着フライ&クルーズの推進》

那覇港は、国内有数の国際クルーズ客船の寄港地であり、2019年(令和元年)は過去最高の260隻の客船が訪れ寄港回数は全国トップとなりましたが、世界的に流行している新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、2020年(令和2年)3月からクルーズ船のキャンセルが続いています。(令和4年1月時点)

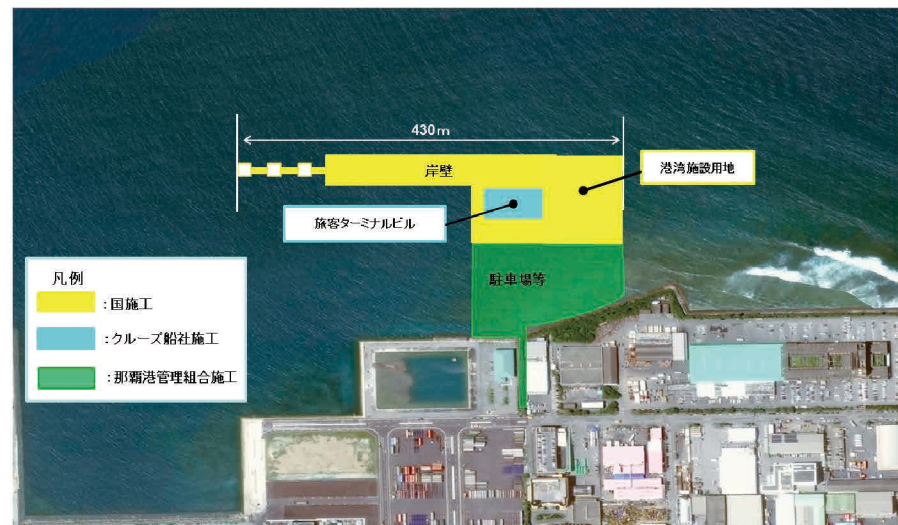
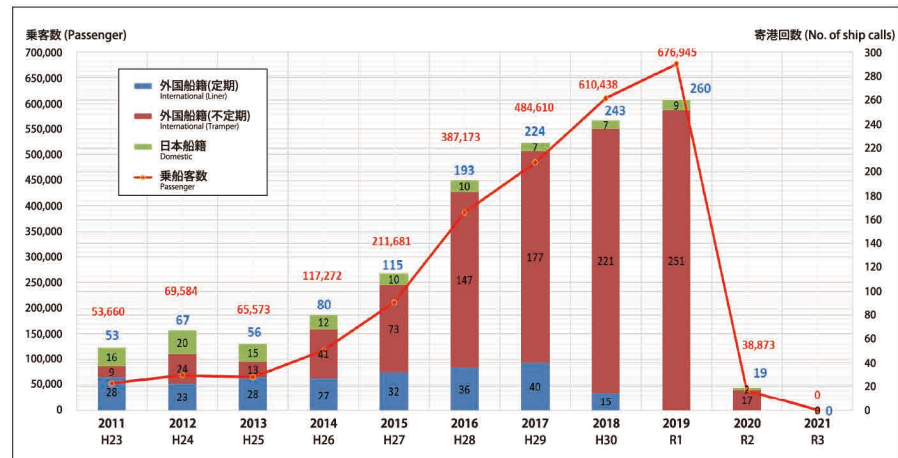
世界的にもクルーズが停滞している状況ですが、那覇港への2022年(令和4年)の予約数は300件を超えていることから、沖縄に対するクルーズ船社の関心は依然として高く、寄港地としての魅力は変わっていないことが伺えます。

那覇港では、多様なクルーズを迎え入れ、沖縄の魅力を発信する快適な玄関口の形成を目指すため、沖縄県や関係機関等と緊密に連携し、フライ&クルーズやラグジュアリー船等の誘致に向けたポートセールスの展開を図りながら、引き続き、国際クルーズ拠点形成に取り組んでいきます。

## 《第2クルーズバースの整備》

那覇港ではクルーズ客船の寄港が急増するとともに、クルーズ客船の大型化も急速に進んでおり、その対応が喫緊の課題となっています。

このため、那覇クルーズターミナルや既存施設での受け入れ体制の充実を図るとともに、更なるクルーズ客船の受け入れを推進するため、2016年(平成28年)に港湾計画の一部変更を行い、22万トン級まで対応可能な第2クルーズバースを港湾計画に位置付け、2019年(令和元年)より国と連携しながら官民連携による国際クルーズ拠点の整備を進めています。





# 8 沖縄県クルーズ船受入那覇・南部地域協議会

## 《経緯》

令和2年10月国土交通省からの事務連絡、「当分の間におけるクルーズ船の寄港受入に際しての留意事項等について」に基づき、港湾管理者は船舶及び港湾ガイドラインへの適合状況を確認するとともに、都道府県等の衛生主管部局を含む地域の関係機関で構成される協議会等を開催し、関係機関の合意を得た上で国内クルーズ船の寄港を受け入れる必要があることから、令和3年3月沖縄県クルーズ船受入那覇・南部地域協議会を設立しました。

那覇港へのクルーズ船寄港要望があれば、当該協議会で合意を得たうえで受入を行うことになっています。

## 《沖縄県クルーズ船受入協議会の組織》

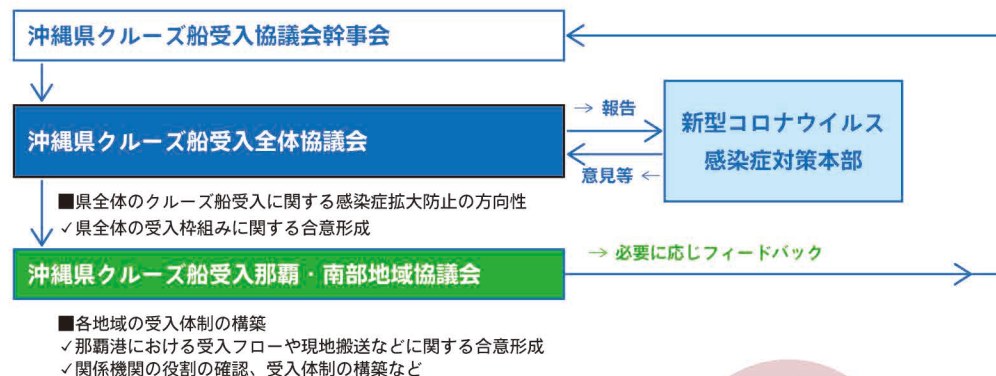
島嶼県であり各地域で港湾管理者が異なることから、弾力的な運用を図るため、全体協議会と地域協議会を設置しています。

- ①全体協議会（関係機関の部長等）
- ②地域協議会（北部、中部、那覇・南部、宮古、八重山地域の関係機関の課長、所長）

## 《取組事項》

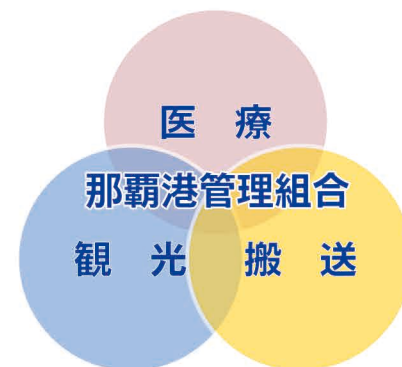
当協議会では下記の事項について、協議、調整を行う。

- ①クルーズ船の寄港受入に際しての事前調整
- ②感染者が確認されたクルーズ船の受入体制の構築
- ③想定を超える事態への備え
- ④事案発生に備えた訓練等
- ⑤安全・安心な寄港地観光の推進



## 《那覇・南部地域協議会構成員》

分野	構成員
1 港湾関係	那覇港管理組合みなと振興課長・管理課長、沖縄県土木建築部南部土木事務所長、沖縄総合事務局那覇港湾・空港整備事務所長
2 医療関係（移送含む）	那覇市健康部那覇市保健所長、沖縄県保健医療部南部保健所長、沖縄県保健医療部感染症対策課長
3 搬送関係（移送協力含む）	那覇市消防局救急課長、那覇海上保安部警備救難課長、那覇警察署警備課長
4 観光関係	那覇市経済観光部観光課長



# 9 港湾計画の改訂

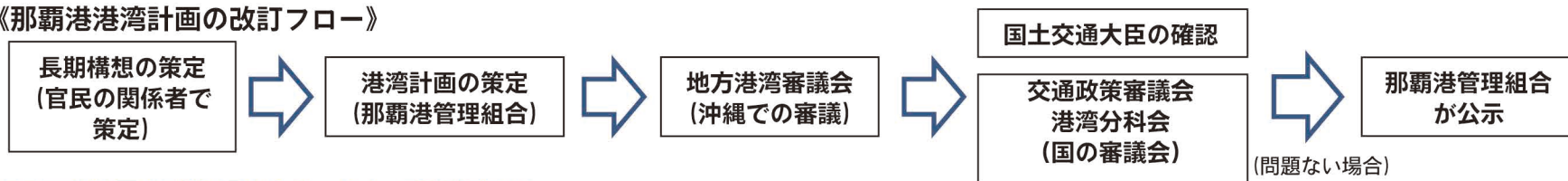
## 《港湾計画の改訂に向けて》

那覇港の開発は、官民の関係者が連携して30年後程度を見据えた「長期構想」を策定した上で、15年後程度を見据えた「港湾計画」を策定し、それに沿って実施していきます。

沖縄の社会経済活動を支えるとともに国の「重要港湾」である那覇港の港湾計画は、国内外の社会経済情勢の変化等を考慮して策定する必要があり、地元地域における審議会、国(国土交通省)における審議会を経て、決定となります。

那覇港の現行の港湾計画は平成15年に策定されたものであり、現在、港湾計画の全面的な見直し(改訂)に向けた作業を進めているところです。

### 《那覇港港湾計画の改訂フロー》



## 《那覇港長期構想(令和4年度策定)》

### 【那覇港長期構想の基本理念】

舟楫をもって万国の津梁となす、世界と沖縄・日本全国の人・物・文化を繋ぐ“みなと”

### 【那覇港の目指す将来像】

#### <物流・産業>

将来像 I アジアのダイナミズムを取り込み、自立型経済の構築を支える国際流通拠点となる“みなと”

#### <交流・賑わい>

将来像 II 世界と沖縄、琉球の歴史・文化を繋ぎ、観光の高出加価値化に導く“みなと”

#### <安全・安心>

将来像 III 沖縄の経済・生活の強靱化を支える“みなと”

#### <持続可能な開発>

将来像 IV 持続可能な発展を実現する“みなと”

### 【将来像実現に向けた基本戦略】

#### — 那覇港7つのチャレンジ —

基本戦略1 国内外航路及び空港の連携や流通加工機能等を活かした『アジアと日本を結ぶ中継拠点港』化による航路網の充実

基本戦略2 空港との連携や物流・交流・商流の相乗効果による臨空・臨港型産業の集積及び創育

基本戦略3 多様なクルーズを迎え入れ、沖縄の魅力を発信する快適な玄関口の形成

基本戦略4 万国津梁のロマンを感じる、国内外の人・物・文化等の交流を生むウォーターフロント空間の形成

基本戦略5 平時及び災害時等の安全かつ安定的な港湾利用環境の確保

基本戦略6 経済活動と豊かな県民生活、自然環境が共生する良好な港湾環境の創出

基本戦略7 人材と技術を育成する実証フィールドとしての港湾空間の活用

那覇港では、2003年(平成15年)3月に平成20年代後半を目標年次として、「港湾計画」の改訂を行っています。

一方、那覇港を取り巻く社会経済情勢は、港湾計画改訂当時から大きく変化しており、その状況を踏まえて、概ね20年から30年先の長期的な視点に立った那覇港の将来構想、ビジョンの策定に向け、2012年度(平成24年度)から有識者や関係行政機関等で構成される「那覇港長期構想検討委員会」を設置し、様々な分野の関係者の助言、提案等を踏まえて、「那覇港長期構想」を令和4年度に策定しました。

今回策定した「那覇港長期構想」に基づき、港湾の開発、利用及び保全の指針となる「港湾計画」の改訂等を行い、将来にわたる沖縄県全域の持続可能な発展の推進力となる「みなとづくり」を進めていきます。



# 10 臨港道路交通体系

## 《臨港道路交通体系》

那覇港では、各ふ頭間の有機的連携や、背後圏あるいは那覇空港への港湾貨物の円滑な輸送の確保のため臨港道路の整備を進めており、物流の効率化を図るとともに国道や県道との連携により、港湾周辺の主要幹線道路の混雑緩和にも寄与することが期待されます。

臨港道路若狭港町線は、那覇港と背後の主要アクセス道である臨港道路港湾1号線及び周辺の都市内道路の渋滞を緩和し、港湾関連交通の円滑化を図ることを目的とした道路です。当臨港道路は、西海岸道路の一部（那覇北道路）として位置づけられており、「那覇北道路・臨港道路若狭港町線」として事業を行っています。



# 11 万国津梁のロマンあふれる交流のみなとまちづくり

## 《那覇港みなとまちづくりマスタープラン》

平成21年8月に、明治橋際から新港ふ頭小船溜まりに係る那覇港ウォーターフロント人流ゾーンにおける整備のあり方や活性化の方向性を示した「那覇港みなとまちづくりマスタープラン：万国津梁のロマンあふれる交流のみなとまちづくり」を策定しました。



## 12 那覇港の保安対策

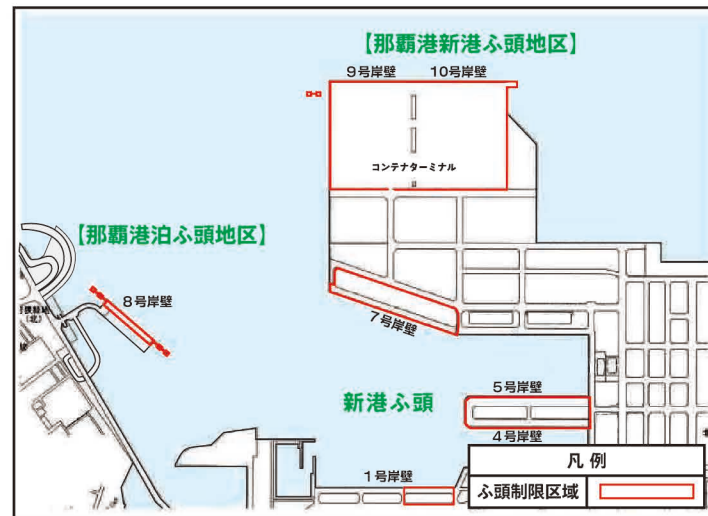
### 《保安対策の実施》

SOLAS条約改正に伴い「国際航海船舶及び国際港湾施設の保安の確保等に関する法律」が制定され、2004年7月1日に施行されました。

同法律に基づき那覇港では新港ふ頭1号、5号、7号、9号・10号岸壁及び泊ふ頭8号岸壁に制限区域を設け、保安対策を実施しています。

### 《保安対策の内容》

- ・ 立入制限区域の設定
- ・ 制限区域のフェンス設置、警備員、監視カメラ等による監視
- ・ 制限区域入場の際の目的や身分の確認
- ・ 岸壁前面の制限水域の設定

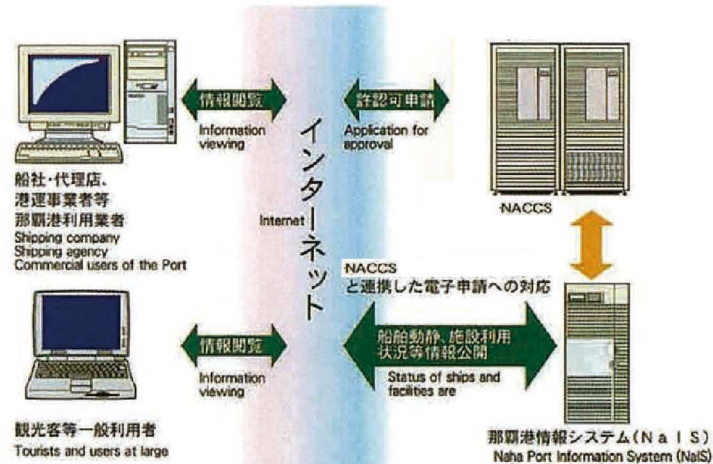


## 13 那覇港情報システム

※2004年12月1日より、港湾の利用効率化を図るため、「那覇港情報システム」を本格稼働しました。

※2007年6月に策定された統一モデル様式の申請書式に対応するシステムの改修を行い、さらに利用者の利便性を図っています。

※利用者の利便性の向上を図るため、輸出入港湾関連情報処理センター株式会社(NACCSセンター)にて管理・運営しているNACCSと連携して、シングルウィンドウ対応することで、インターネットを利用した港湾施設の許認可申請が更に便利になっています。さらに、船舶入出港状況、港湾施設使用状況等の港湾施設利用情報などが取得可能となっています。





# 14 定期船・不定期船航路別表

那覇港を出入港する定期航路・不定期航路一覧

2022.03.01 現在

区分	寄港地 ※赤字は最終港 ※( )寄港地は不定港	船名(定期・不定期) ※青字は旅客も対応	船種	総トン数	全長	運航回数	出港曜日→次回入港曜日	船主	問い合わせ先	接岸 岸壁
東京	那覇→大阪→東京→大阪→那覇	しゅり	定期 RORO船	9,813	168	1/週	木→翌週木	近海郵船	098-862-4130	新港4・7
	那覇→中城→大阪→東京→大阪→那覇	にらいかないII	定期 RORO船	11,687	182	1/週	火→翌週月	琉球海運	098-868-3203	新港5・6
	那覇→本部→大阪→東京→大阪→那覇	しゅりれいII	定期 RORO船	11,687	182	1/週	土→翌週土	琉球海運	098-868-3203	新港6・7
名古屋	那覇→志布志→東京→(名古屋)→志布志→那覇	琉球エクスプレス3	定期 RORO船	10,034	169	3/2週	火→木、木→日、日→翌週火	マルエーフェリー	098-861-1881	新港5・7
	那覇→本部→大阪→東京→大阪→那覇	琉球エクスプレス5	定期 RORO船	10,034	169	3/2週	マルエーフェリー	098-861-1881	新港5・7	
大阪	那覇→名古屋→豊橋→愛知→鹿兒島→那覇	ふがく丸	不定期 自動車運搬船	11,573	165	1/4日	不定	フジトランスコーポレーション	098-861-1566	新港5・6・7
	那覇→大阪→那覇	うりずんNEXT	定期 RORO船	7,756	145	1/週	水→日	鹿児島荷役海陸運輸	098-876-3300	浦添3
		海風	不定期 一般貨物船	1,682	117	3/2週	月→木、木→土、土→翌週月	丸三海運	098-942-5260	浦添7
		鳥島	不定期 一般貨物船	1,594	117	3/2週	(2隻で運行調整)	丸三海運	098-942-5260	浦添7
		第十五旭丸	不定期 一般貨物船	749	86	1/週	月→翌週月	大阪旭海運	098-867-1314	新港3
		うりずん21	定期 RORO船	5,848	142	1/週	月→金	鹿児島荷役海陸運輸	098-876-3300	浦添1・2
		りゅうなんIII	定期 一般貨物船	637	84	1/週	火→翌週火	南日本汽船	098-876-3300	浦添3
		21盛山丸	不定期 一般貨物船	498	76	1/週	月→翌週月	丸三海運	098-942-5260	浦添6
		琉球エクスプレス6	定期 RORO船	10,329	158	1/週	木→翌週月	マルエーフェリー	098-861-1881	新港5・7
		琉球エクスプレス2	定期 RORO船	10,758	160	1/週	月→金	マルエーフェリー	098-861-1881	新港5・7
神戸	那覇→名瀬→志布志→大阪→神戸→大阪→志布志→那覇	琉球エクスプレス2	定期 RORO船	10,758	160	1/週	月→翌週月	マルエーフェリー	098-861-1881	新港5・7
	那覇→呉→広島→三島川之江→愛媛→高松→香川→新居浜→愛媛→那覇	りゅうなん5	定期 一般貨物船	498	76	1/週	月→翌週月	南日本汽船	098-876-3300	浦添3
北九州	那覇→ひびき→福岡→那覇	琉球エクスプレス2	定期 RORO船	10,758	160	1/週	金→日	マルエーフェリー	098-861-1881	新港5・7
		琉球エクスプレス6	定期 RORO船	10,329	158	1/週	月→木	マルエーフェリー	098-861-1881	新港5・7
		よね丸	定期 一般貨物船	749	96	1/週	火→土	南西海運	098-868-1848	新港1・3
博多	那覇→博多→那覇	ちゅらしま	定期 RORO船	10,184	169	2/週	水→金、土→翌週火	琉球海運	098-868-6623	新港6・7
		あやはし	定期 RORO船	11,681	182	1/週	月→水	琉球海運	098-868-6623	新港6・7
		うりずん	定期 一般貨物船	1,550	110	2/週	月→金、金→翌週月	鹿児島荷役海陸運輸	098-876-3300	浦添4・5
		うりずんII	定期 一般貨物船	1,586	117	2/週	水→土、土→翌週水	鹿児島荷役海陸運輸	098-876-3300	浦添4・5
		りゅうなん	定期 一般貨物船	1,194	100	2/週	木→日、日→翌週木	南日本汽船	098-876-3300	浦添4・5
		海邦2	不定期 一般貨物船	1,445	99	3/2週	月→木、木→土、土→翌週月	丸三海運	098-942-5260	浦添8
		なは2	不定期 一般貨物船	1,138	93	3/2週	(2隻で運行調整)	丸三海運	098-942-5260	浦添8
		わかなつ	定期 RORO船	10,185	169	1/週	水→土	琉球海運	098-868-6623	新港4・6・7
		あやはし	定期 RORO船	11,681	182	1/週	木→日	琉球海運	098-868-6623	新港6・7
		かりゆし	定期 RORO船	9,943	154	2/週	月→水、金→日	琉球海運	098-868-6623	新港4・6・7
鹿兒島	那覇→鹿兒島→博多→那覇	うりずんNEXT	定期 RORO船	7,756	145	1/週	日→翌週水	鹿児島荷役海陸運輸	098-876-3300	浦添3
	那覇→中城→博多→那覇	うりずん21	定期 RORO船	5,848	142	1/週	金→日	鹿児島荷役海陸運輸	098-876-3300	浦添3
先島	那覇→博多→鹿兒島→那覇	りゅうなんII	定期 一般貨物船	498	76	1/週	土→翌週土	南日本汽船	098-876-3300	浦添5
		みやらびII	定期 RORO船	10,184	169	1/週	火→金	琉球海運	098-868-6623	新港7
	那覇→本部→与論→泊→沖永良部→亀徳→徳之島→名瀬→奄美→鹿兒島→名瀬→亀徳→泊→与論→本部→那覇	フェリーあけぼの	定期 フェリー	8,083	145	1/4日	4隻でサイクル運転 (どちらかの船が毎日出入港)	マルエーフェリー	098-868-7727	那覇2
		フェリー波之島	定期 フェリー	6,586	146	1/4日	マルエーフェリー	098-868-7727	那覇2	
		クイーンズヨールプラス	定期 フェリー	5,910	144	1/4日	マルックスライン	098-868-9598	那覇2	
		クイーンズヨールクロス	定期 フェリー	7,914	145	1/4日	マルックスライン	098-868-9598	那覇2	
	那覇→石垣→那覇	陽光丸	定期 一般貨物船	499	76	1/週	金→日	崎原海運	098-861-2260	新港1
	那覇→石垣→与論→那覇	陽光丸	定期 一般貨物船	499	76	1/週	月→木	崎原海運	098-861-2260	新港1
	那覇→平良→那覇	第2俊昭丸	定期 一般貨物船	498	75	1/週	火→木	琉球海運	098-868-6623	新港4・6
		わかなつ	定期 RORO船	10,185	169	1/週	月→水	琉球海運	098-868-6623	新港4・6・7
	かりゆし	定期 RORO船	9,943	154	1/週	水→金	琉球海運	098-868-6623	新港4・6・7	
	第2俊昭丸	定期 一般貨物船	498	75	2/週	木→日、日→翌週火	琉球海運	098-868-6623	新港4・6	
	せつ丸 (※国外航路あり)	定期 一般貨物船	1,488	107	1/週	火→木	南西海運	098-868-1848	新港1・10	
	よね丸	定期 一般貨物船	749	96	6/週(不定)	月～日で出入港 (4隻で運航調整)	南西海運	098-868-1848	新港1・3	
	なんせい丸	定期 一般貨物船	749	98	6/週(不定)		南西海運	098-868-1848	新港1・3	
	ちよ丸	定期 一般貨物船	498	75	6/週(不定)		南西海運	098-868-1848	新港1・3	
	はりみず	定期 一般貨物船	498	75	6/週(不定)		南西海運	098-868-1848	新港1・3	
	せつ丸 (※国外航路あり)	定期 一般貨物船	1,488	107	1/週	木→翌週火	南西海運	098-868-1848	新港1・10	
	みやらびII (※国外航路あり)	定期 RORO船	10,184	169	1/週	金→翌週月	琉球海運	098-868-6623	新港7・9	
周辺離島	那覇→阿嘉→座間味→阿嘉→那覇	フェリーさまみ3	定期 フェリー	669	71	1/日	毎日	座間味村	098-868-4567	泊6
		クイーンズまみ3	定期 高速船	168	35	2/日	毎日	座間味村	098-868-4567	泊7
	那覇→渡嘉敷→那覇	フェリーとかしき	定期 フェリー	499	67	1/日	毎日	渡嘉敷村	098-868-7541	泊5
	那覇→粟国→那覇	マリンライナーとかしき	定期 高速船	123	31	2/日	毎日	渡嘉敷村	098-868-7541	泊7
		ニューフェリーあぐに	定期 フェリー	698	72	1/日	毎日	粟国村	098-862-5553	泊3
	那覇→渡嘉喜→兼城→久米島→渡嘉喜→那覇	フェリー琉球	定期 フェリー	1,188	84	1/日	毎日	久米島船	098-868-2686	泊2
	フェリー海邦	定期 フェリー	1,196	84	1/日	毎日	久米島船	098-868-2686	泊2	
	たいとう	定期 貨客船	690	84	6/月	不定	大東海運	098-861-0515	泊1	
北米	ロサンゼルス(サンペドロ)→オークランド→横浜→那覇→釜山→青島→上海→釜山→ロサンゼルス(サンペドロ)	PRESIDENT KENNEDY	定期 フルコン	82,794	230	1/週	土→翌週土	APL	098-861-4701	新港10
	ロンギビーチ→ホノルル→アラカラム→那覇→寧波→上海→ロングビーチ	MAUNAWILLI	定期 フルコン	32,575	217	1/週	土→翌週土	MATSON	098-862-2046	新港10
	上海→大阪→神戸→那覇→上海	MILD JAZZ	定期 フルコン	9,994	148	1/週	金→翌週金	SJJ	098-869-6618	新港9
	ダバオ→フィリピン→那覇→(博多)→(神戸)→ダバオ→フィリピン	LADY ROSEBAY	定期 冷凍コンテナ	9,340	137	1/2週	金→翌々週金	FRESH CARRIERS	098-862-2046	新港9
	※先島航路の延長 那覇→平良→石垣→高雄→那覇→博多→鹿兒島→那覇	みやらびII	定期 RORO船	10,184	169	1/週	金→翌週月	琉球海運	098-868-6623	新港7・9
※先島航路の延長 那覇→平良→石垣→(廈門)→(高雄)→那覇→平良→石垣→那覇	せつ丸	定期 一般貨物船	1,488	107	1/週	木→翌週火	南西海運	098-868-1848	新港1・10	
那覇→志布志→輪島→大分→広島→岡山→門司→釜山→八代→那覇→基隆→台中→高雄→基隆→那覇	ITX EHIME	定期 フルコン	9,996	143	2/週	月→金、金→翌週月	愛媛オーシャンライン	098-868-3203	新港9	



# 15 港湾関係官公署及び諸団体

## 官公署

名 称	所在地	電話番号
内閣府沖縄総合事務局運輸部	那覇市おもろまち2丁目1番1号	(098)866-0031(代)
“ 開発建設部	那覇第2地方合同庁舎2号館	“
“ 那覇港湾・空港整備事務所	“ 港町2丁目6-11	(098)867-3710(代)
国土交通省第十一管区海上保安本部	“ 港町2丁目11-1	(098)867-0118(代)
“ 那覇海上保安部	“ 港町4丁目6-5	(098)951-0118(代)
“ 沖縄気象台	“ 樋川1丁目15-15-5F	(098)833-4281
“ 沖縄船員地方労働委員会事務局	“ おもろまち2丁目1-1-4F	(098)868-0570
“ 門司地方海難審判庁那覇支部	“ 港町2丁目11-1-8F	(098)868-9334
法務省福岡入国管理局那覇支局	“ 樋川1丁目15-15	(098)832-4185
財務省沖縄地区税関	“ 壺川3丁目2-6 壺川ビル3F	(098)996-5506
厚生労働省那覇検疫所	“ 港町2丁目11-1	(098)868-8037
農林水産省那覇植物防疫事務所	“ “	(098)868-0715
“ 動物検疫所沖縄支所	“ “	(098)861-4370
沖縄県土木建築部港湾課	“ 泉崎1丁目2-2	(098)866-2395
“ 環境部環境政策課	“ “	(098)866-2183
“ 農林水産部水産課	“ “	(098)866-2300
“ 農林水産部漁漁場課	“ “	(098)866-2305
那覇市都市みらい部都市計画課	那覇市泉崎1丁目1-1-9F	(098)951-3246
浦添市企画部西部開発局西海岸開発課	浦添市安波茶1丁目1-1	(098)876-1234(代)
宮古島市建設部港湾課	宮古島市平良字下里108-11	(0980)72-4876
石垣市建設部港湾課	石垣市浜崎町3丁目4番地	(0980)82-4046

## 諸団体

名 称	所在地	電話番号
(公社)沖縄海事広報協会	那覇市泊3丁目1-8-2F	(098)863-4604
(一財)沖縄観光コンベンションビューロー	“ 小祿1831-1	(098)859-6123
沖縄県教育庁実習船運営事務所	糸満市西崎1-1-1	(098)992-0139
(一社)沖縄県漁業無線協会	“ 西崎1丁目4-11	(098)840-3566
沖縄県港湾協会	那覇市泉崎1丁目2-2	(098)862-1526
(特例社)沖縄県貿易協会	“ 久米2丁目2-10	(098)866-9183
(一社)沖縄県木材協会	“ “	(098)868-3656
(一社)沖縄港運協会	“ 港町2丁目12-22	(098)868-5421
(一財)沖縄港漁福利厚生協会	“ “	(098)862-2210
(一財)沖縄船員厚生協会	“ 前島3丁目25-50	(098)868-2784
沖縄植物検疫協会	浦添市伊奈武瀬1-11-1	(098)868-5842
(一社)沖縄旅客船協会	那覇市泊3丁目1-8	(098)868-4449
(公財)海上保安協会沖縄地方本部	“ 港町2-12-22	(098)868-6616
(一社)全沖縄検数協会	“ 港町2丁目12-18	(098)861-2331
全日本港湾労働組合沖縄地方本部	“ 通堂町4-22	(098)868-3420
全日本海員組合沖縄支部	“ 若狭3丁目4-1	(098)868-1884
泊ふ頭開発株式会社	“ 前島3丁目25-1	(098)861-3341
那覇市沿岸漁業協同組合	“ 港町3丁目1-17	(098)861-2707
(一社)那覇市観光協会	“ 牧志3丁目2-10-3F	(098)862-1442
浦添市観光協会	浦添市勢理客4丁目13-1-4F	(098)874-0415
那覇市観光ホテル旅館事業協同組合	那覇市通堂町2-1	(098)861-4166
那覇地区漁業協同組合	“ 港町1丁目1-9	(098)868-5472
那覇水先区水先人会	“ 西2丁目1-1-3F	(098)868-1613
(一社)日本海事検定協会沖縄事務所	“ 港町2丁目6-18-6F	(098)862-2200
日本小型船舶検査機構沖縄支部	“ 泊3丁目1-8	(098)863-7002
(株)日本船舶職員養成協会西日本沖縄事務所	“ “	(098)868-3400
(公社)琉球水難救済会	“ 泊3丁目1-6	(098)868-5940
NPO法人ナハ・シー・パラダイス協議会	“ 西1丁目19-1	(098)988-4122
波の上のみそら公園管理事務所	“ 辻3丁目10番12号	(098)863-7300

## 船舶・荷役関係 (50音順)

名 称	所在地	電話番号
粟国村船舶運航事務所	那覇市前島3丁目25-1-1F	(098)862-5553
アジア海洋沖縄(株)	“ 泊3丁目1-6	(098)868-5914
(有)ウエストマリン	“ 通堂町2-1	(098)866-0489
エキスティック・エビセンター(株)	浦添市勢理客4丁目17-11	(098)870-0680
(株)OTK	那覇市港町2丁目16-1	(098)862-0021
(株)大阪旭海運沖縄出張所	“ 曙2丁目26-1	(098)862-7483
(株)沖縄エキスプレス	“ 安謝260-2-2F	(098)868-3159
沖縄海陸物流(株)	“ 港町1丁目13-13	(098)860-9000
(株)沖縄急送	浦添市西洲2丁目6-4	(098)873-0910
沖縄港運(株)	那覇市西2丁目1-1-1F	(098)868-4151
(有)沖縄国際海運 那覇支店	“ 港町1丁目207(国際CT内)	(098)869-6618
沖縄セナタリ(株)	“ 西2丁目13-15-1F	(098)868-8458
(有)沖縄スプoresエージェンシー	“ 通堂町2-1-2F	(098)866-7890
沖縄砂利採取事業協同組合	宜野湾市宇字地泊668	(098)890-2904
沖縄第一倉庫(株)	那覇市西2丁目26-18	(098)868-4808
沖縄荷役サービス(株)	“ 港町1-16-20	(098)918-0006
(株)沖縄ポートサービス	“ 港町1丁目2-2	(098)864-5888
沖縄ロジテム株式会社	“ 港町2丁目16-10	(098)860-1946
海邦港運(株)	“ 港町2丁目6-18-7F	(098)861-4153
海洋シッピング(株)	“ 港町2丁目16-1-6F	(098)864-2831
(株)ギマ石油	“ 泊3-1-8	(098)863-0036
久米商船(株)	“ 前島3丁目16-9	(098)868-2686
座間味村役場船舶課那覇事務所	“ 前島3丁目25-1-1F	(098)868-4567
(株)第一港運	沖縄県浦添市西洲2-22	(098)917-5477
大共港運(株)	那覇市西2丁目20-17	(098)868-5345
大東海運(株)	“ 前島3丁目25-5 1F	(098)861-0515
東亜運輸(株)	“ 港町3丁目7-50	(098)868-0231
渡嘉敷村役場那覇連絡事務所	“ 前島3丁目25-1-1F	(098)868-7541
トランスネット沖縄(株)	“ 通堂町2-1	(098)868-9598
ナカンヌ興業(株)	“ 通堂町5-5	(098)868-6902
(株)那覇港総合物流センター	“ 港町1丁目26番1号	(098)860-2020
那覇国際コンテナターミナル(株)	“ 港町1丁目27-1	(098)867-5931
那覇船舶給水(資)	“ 識名3丁目15-13	(098)868-8247
(株)那覇タグサービス	“ 西2丁目1-1	(098)868-4727
那覇埠頭倉庫(株)	“ 西2丁目1-27	(098)868-4316
南西海運(株)	“ 曙2-24-13	(098)868-1848
野村海事事務所	“ 前島2丁目21-13-11F	(098)861-0057
マリナシッピング ジャパン(株)沖縄駐在事務所	那覇市港町2丁目16-1-3F	(098)868-8088
マリックスライン(株)沖縄営業所	那覇市通堂町2-1	(098)862-8774
(株)マリン観光開発	那覇市泊3-14-1	(098)869-2241
マルエーフェリー(株)	“ 通堂町2-1	(098)868-7727
マルエー物流(株)	“ 通堂町2-1	(098)861-1884
丸三海運(株)沖縄営業所	浦添市西洲2丁目24(2号上層)	(098)942-5260
南日本汽船(株)	浦添市西洲2丁目4-3	(098)876-3300
(有)陸運	中頭郡北谷町字宮城1番地782 LM美浜北	(098)936-0295
琉球海運(株)	那覇市西1丁目24-11-3F	(098)868-8162
琉球港運(株)	浦添市西洲2丁目15	(098)871-3011
琉球物流(株)	那覇市港町2丁目17-13	(098)861-4700
(株)琉翔	宜野湾市宇字地泊668	(098)942-2288
湧川運輸(株)	那覇市西1丁目24-11-2F	(098)868-0896